

ビル管理隊の部B操作要領（令和8年度）

実施項目	指揮者	1番員	2番員	備考
事前準備				
資器材準備	① 受付でプラカードを受領、ビブスは、次隊待機位置で係員から4名分(防火管理者分も含む)を受領し、装着する。 ② 指揮者と1番員は、 <u>待機位置★¹</u> で係員からトランシーバー(以下「無線」という。)を各自受領し、装着する。 ③ 自己隊のプラカードを <u>プラカード設置場所★⁰</u> に立てる。 ④ <u>待機位置(机)★¹</u> に指揮者、1番員及び2番員の各ヘルメットと手袋を設定する。 ⑤ 全員の準備(服装含む)が完了したら、 <u>整列位置★²</u> で自主整頓し、指揮者の「 整列休め 」の号令で待機する。			※ビブスは、自己隊で用意したものを使用可能とします。自己隊のものをを使用する場合は、待機位置に来る前に装着しておいてください。
審査開始				
人員確認 待機位置に移動	(紹介アナウンス後) 整列位置★ ² から列を外れ、整列している1・2番員の前に移動し、指揮者が気をつけの状態から、1・2番員に対し、「 気をつけ 」、「 番号 」の号令をかける。 「 待機位置につけ 」と下命し、待機位置★ ¹ に移動する。	指揮者の号令まで、事務室前の整列位置★ ² に 整列休めの姿勢で待機する。 指揮者の「気をつけ」の号令で「気をつけ」をし、「番号」の号令により1・2番員が順番に「 1 」、「 2 」と呼称する。 指揮者の下命後、「 よし 」と呼称し、待機位置★ ¹ に移動し、椅子に着席する。		※整列位置に整列後、本部テントより、出場隊の紹介アナウンスが流れます。
開始報告	指揮者は隊員全員が着席し、準備が完了した時点で、「 準備よし 」と呼称する。係員が赤旗を揚げたら、指揮者は起立・挙手し、「 〇〇自衛消防隊準備完了 」と報告し着席する。	着席のまま待機		※指揮者の「 準備よし 」と呼称後、係員が赤旗を揚げます。
地震発生				
地震発生	緊急地震速報が流れたら、指揮者が起立後、1・2番員も起立し、「 地震発生、身の安全を図れ 」と1・2番員に対して下命し、指揮者自身も机の下にもぐり、身の安全を図る。 係員の「地震が収まりました。」の合図で、その場に立ち上がり、1・2番員が立ち上がるのを目視したら、「 異常はないか？ 」と確認する。 2番員の報告後に、「 余震に備えて、ヘルメットを着装せよ 」と下命する。 「 ヘルメット着装 」と呼称し、ヘルメットを被ったら「 ヘルメットよし 」と呼称後、隊員の着装を確認して着席する。	緊急地震速報が流れたら、指揮者が起立後、1・2番員も起立し、指揮者の「地震発生、身の安全を図れ。」の下命後、「 よし 」と呼称し、机の下にもぐり、身の安全を図る。 係員の「地震が収まりました。」の合図で、その場に立ち上がる。 指揮者の呼び掛けに対し、「 1番員異常なし 」、「 2番員異常なし 」と報告する。 指揮者の下命に対して、「 よし 」と呼称する。 「 ヘルメット着装 」と呼称し、ヘルメットを被ったら「 ヘルメットよし 」と呼称して着席する。		※緊急地震速報の後に地震の擬音が流れます。 全隊員が机の下で身を守る態勢がとれたことを確認できたら、係員が「 地震が収まりました 。」と合図します。 ※指揮者又は1・2番員の号令・下命に対する応答呼称の「よし」は、「よし」又は「了解」のどちらでも可とします(以下共通)。
火災発生（自衛消防隊 初期活動開始）				
自火報発報 受信盤確認 現場確認指示	ベル鳴動後、起立し「 自火報²発報 」と呼称、自火報受信盤★ ³ の前へ移動し、受信盤の表示を確認しながら「 5階発報 」と指差し呼称をする。 その後、1・2番員の方向に向きを変え、「 1・2番員は5階へ向かい、現場確認にあたれ 」と下命する。	ベルが鳴動し、指揮者が起立し「自火報発報」と呼称したら、「 自火報²発報 」と復唱・起立しながら自火報受信盤★ ³ の前へ移動する。 指揮者の「5階発報」の後、1・2番員同時に「 5階発報 」と指差し呼称する。 指揮者に対し、「 よし 」と呼称する。		※指揮者の「 自火報発報 」の呼称から 全体タイムの測定開始 注 自火報＝自動火災報知設備 ※全隊員がヘルメットを着装して着席後、係員がベルを鳴動します。
手袋着装	1・2番員が「よし」と呼称後、待機位置★ ¹ に移動し、「 手袋着装 」と呼称し、着装したら「 手袋よし 」と各自呼称する。			※着装は立った状態で行います。
防災センター内 現場駆け付け準備 非常放送①	手袋着装後、自火報受信盤に戻り、放送設備★ ⁴ を操作し、放送を行う。 「 こちらは防災センターです。ただいま5階で自動火災報知設備が作動しました。現在確認中ですので、次の放送をお待ちください。5階の自衛消防隊は、確認を行い、防災センターに報告してください。 」と2回放送をする。	手袋着装後、携行品の確認をする。「 非常用エレベーターキーよし 」と呼称しながら持っている箇所(ポケット等)指触確認し、「 消火器よし 」と指差し呼称する。 各自(1・2番員)が消火器を持ったら「 準備よし 」と呼称し、現場に駆け付ける。	手袋着装後、携行品の確認をする。「 マスターキーよし 」、「 消防用設備の鍵よし 」と呼称しながら持っている箇所(ポケット等)を指触確認し、「 消火器よし 」と指差し呼称する。	※非常用エレベーターキー等の携行は仮想とします。 ※★ ¹⁷ 赤線(活動範囲ライン)以降を火点活動ゾーンとします。
地区隊からの引継ぎ 現場確認		搬送した消火器を停止位置★ ⁶ に搬送する。 火点室手前で地区隊長(係員)が登場し、状況報告位置★ ⁵ で正対する。 ①地区隊長(係員)に、「 交代します。状況を報告してください。 」と下命し、地区隊長から報告を受ける。 ③地区隊長(係員)の報告に対し、「 了解、地区隊にあつては避難誘導にあたれ。 」と下命する。 2. 2番員と正対し、2番員に「 状況報告せよ 」と下命する。 4. 2番員から「 白煙確認、内部延焼中 」の報告を受け、2番員と正対し、「 了解、消火器で消火せよ。 」と下命する。	搬送した消火器を停止位置★ ⁶ に搬送する。 火点室入口(放水開始位置)★ ¹⁰ のドアに表示されている白煙を確認し、「 白煙確認 」と指差し呼称する。 呼称後、両手で火点室入口ドアを15cm程ゆっくりと開け 室内を確認し、「内部延焼中」 と呼称する。 内部確認後、ドアをすぐに閉める。 1. 1番員と状況報告位置★ ⁵ で正対する。 3.「 白煙確認、内部延焼中 」と報告する。 5. 1番員の下命に対し、「 よし 」と呼称する。	※火点室入口ドアは、「外開き」です。 ②地区隊長(係員)は、「 5階更衣室延焼中、119番通報・初期消火は未実施です。 」と1番員に報告します。 ④1番員の報告に対し、地区隊長(係員)は「 よし 」と呼称します。

実 施 項 目	指 揮 者	1 番 員	2 番 員	備 考
放水	火点室に放水が開始されたことを確認し、1番員の操作状況を監視する。 標的が倒れ、1番員が室内に進入したら、指揮者は火点室内の適宜安全な位置に移動して操作を監視する。 (※指揮者は1番員より前には出ないこと。)	標的が倒れたら、「進入」と呼称し、すり足で火点室内の屋内消火栓進入位置★¹¹まで進入する。	火点室到着後、「2番員到着」と呼称し、火点室入口前で放水を監視する。	※指揮者が火点室内に進入時、係員がドアの保持を交代します。
放水停止	係員の「放水止め」の合図で、1・2番員に対し、「消火栓、放水止め。」と下命する。 ①1・2番員の「放水止め」の呼称後、「2番員は消火栓バルブを閉鎖し、スプリンクラー制御弁を閉鎖せよ。」と下命する。	指揮者の「消火栓、放水止め。」の下命に対し、1・2番員は「消火栓、放水止め」と呼称する。 「放水止め」の呼称後、筒先バルブを閉鎖し、「ノズル閉鎖よし」と呼称する。	②指揮者の下命に対し、「よし」と呼称し、屋内消火栓に駆け足で移動する。	※指揮者が火点室内の監視位置に着いたら、係員が「放水止め」と合図します。 ※指揮者が火点室内に進入時、係員がドアの保持を交代します。
残水処理 区画形成 スプリンクラー制御弁閉鎖	4. 1番員の残水処理後、係員の「収め」の合図で「消火栓収め」を下命する。 6. ホースを補助し、1番員とともにホースをドア入口まで引き出し、両手でドアを閉鎖し、「ドア閉鎖、区画形成よし」と指差し呼称する。	2. 消火栓バルブが閉鎖されたら、「ノズル開放」と呼称しながら筒先ノズルを少し開放して「ノズル開放よし」と呼称する。残水を排水時に「ノズル閉鎖」と呼称し、ノズルを閉鎖し、「ノズル閉鎖よし」と呼称する。 筒先の先端を右手で持ち、左足を引きつけて姿勢を正す。 5. 指揮者の下命後、「消火栓収め」と呼称し、ホースを指揮者とともにドア入口まで移動させ、筒先を地面に置く。	1. 消火栓到着後、「バルブ閉鎖」と呼称しながら消火栓バルブを閉鎖し、「バルブ閉鎖よし」と指差し呼称する。 3. その後、消火栓脇のスプリンクラー制御弁★¹³に正対し「スプリンクラー制御弁閉鎖」と呼称し、「制御弁閉鎖よし」と模擬動作と指差し呼称する。	※1番員の筒先内残水処理後、基本の姿勢をとったら、係員が「収め」と合図します。 ※指揮者の「消火栓収め」の「め」で全体タイムの測定終了。
終了位置に移動	区画形成後、1番員と駆け足で終了報告の指揮者終了位置★¹⁵に移動する。	筒先を地面に置いたら、指揮者と駆け足で隊員終了位置★¹⁴に移動する	指揮者と1番員が戻ってきたら、駆け足で隊員終了位置★¹⁴に移動する。	
点 検 報 告 ・ 活 動 報 告 等				
点検報告	指揮者終了位置★¹⁵に整列後、隊員が整列した時点で「点検報告」と下命し、1・2番員からの異常の有無の報告にそれぞれ「よし」と答える。	隊員終了位置★¹⁴に整列後、指揮者の「点検報告」の号令により指揮者に対し「1番員異常なし」と報告する。	隊員終了位置★¹⁴に整列後、1番員の報告に続いて、「2番員異常なし」と報告する。 ※ホースからの漏水があった場合は、「漏水あり」と報告する。	※点検報告時の小角度の方向変換については任意とします。
防火管理者への活動報告	1・2番員からの点検報告後、指揮者は回れ右をして防火管理者等に向き直り、挙手敬礼後、「5階更衣室から出火、地区隊から引き継ぎ消火器、屋内消火栓を活用し消火完了。逃げ遅れ・けが人なし。区画形成完了。」と報告し、挙手敬礼を行う。	1・2番員は、そのままの位置で待機する。		※防火管理者は、指揮者と隊員が終了位置(★^{14,115})に戻った時点で、コース外直近から防火管理者位置★¹⁶に移動し、指揮者の挙手敬礼に対し答礼し、活動報告を受けてください。 ※防火管理者はヘルメットを着装してください。 ※防火管理者が不在の場合は、訓練指導者等が代行します。
退 場	防火管理者の答礼後、回れ右をして隊員側に向き「わかれ」と号令する。 1・2番員の敬礼に答礼し、駆け足でコース外に退場する。	指揮者の「わかれ」の号令で挙手敬礼し、駆け足でコース外に退場する。		※指揮者の答礼までの行動を審査とします。
資器材返却・撤収	※コース外に退場する前に、速やかにビブス、トランシーバーを係員に返却してください。 ※プラカードは、閉会式終了後、お帰りの際に受付にお返しいただきますので、各隊で退場後も管理してください。			